

政策シート

(政策名) 子どもが健やかに育つ環境づくり

(予算費目名) 次世代育成費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行うことで、子育てに対する不安感や負担感を軽減し、子育てがしやすく、子どもが健やかに育つ環境を整える。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	1,529	1,378	1,595
決算	1,280	1,280	
人件費(A)	42,220	46,020	44,620
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	43,500	47,300	46,215

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
手紙コンクール応募数(点)	点	3,300	目標	3,300	3,300	3,300
			実績	2,264	3,165	
特定教育・保育施設等への指導・監査訪問率(%)	%	100	目標	100	100	100
			実績	100	100	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行うことで、子育てに対する不安感や負担感を軽減し、子育てがしやすく、子どもが健やかに育つ環境を整える。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

＜政策の進捗＞

家庭教育の大切さを認識させるとともに、祖父母と孫の交流を通じて子育てに対する不安感や負担感を軽減に寄与できた。また、特定教育・保育施設等186施設・事業所に対する指導監査は、計画どおり全て実施した。

＜課題＞

指導監査の実施により、特定教育・保育施設等に対し改善を求めている事項については、改善報告を義務付けており、改善の実施について確認を行うとともに、引き続き適正な運営を指導していく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	家庭教育推進事業					3,741	661	0.4			0.1
2	次世代育成運営経費					42,474	934	5.3	1.0		0.3
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						46,215	1,595	5.7	1.0		0.4

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 家庭教育推進事業

◇事業目的・事業対象

家族の絆や家庭の役割、親子のふれあいについて考えることを通して、家庭教育の重要性についての市民の理解と関心を高め、家庭教育を見直す機会を提供する。

◇事業の概要

【家族の絆やふれあいの重要性に対する市民の理解を深めるための事業】

・家族への手紙コンクール

【家庭教育講座】

・保育園・市立幼稚園等での家庭教育講座

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S57	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	782	703	661
	決算	706	690	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	706	690	661
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,380	3,780	3,080
人工	正規	0.3	0.5	0.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.1	0.1	0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
手紙コンクール応募数(点)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,300	3,300	3,300			3,300
実績値	2,264	3,165				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 【家族の絆やふれあいの重要性に対する市民の理解を深めるための事業】
- ・家族への手紙コンクール
- 【孫育てをがんばるシニア世代の応援事業】
- ・祖父母と孫の交流体験事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・家族への手紙コンクールについては、指標としての目標は達成できなかったが、コンクールを通して、家庭教育の大切さを認識させ、家庭教育を実践する機会を提供することができた。
- ・祖父母と孫の交流体験事業を実施し、自然活動を通じて祖父母と孫が絆を深めるとともに、孫育てを頑張る祖父母たちの交流を図ることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

祖父母と孫の交流体験事業および家族への手紙コンクール事業の実施にあたり、参加者募集の周知方法を見直し、より多くの参加を呼びかける。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

家族の絆や家庭教育の重要性に対する市民の理解を深めるため、継続して事業実施を行う。

事業シート (事業名) 次世代育成運営経費

◇事業目的・事業対象

特定教育・保育施設等を対象に、指導・監査業務を行う。また、次世代育成課における児童福祉一般事務を実施することを目的とする。

◇事業の概要

- 【部内及び他部局との総合調整】
 - ・部の予算、決算等のとりまとめ
 - ・社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催
- 【次世代育成課の一般事務】
- 【指導・監査業務】
 - ・特定教育・保育施設等への指導・監査業務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)	児童福祉法、子ども・子育て支援法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	747	675	934
	決算	574	590	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	574	590	934
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		39,840	42,240	41,540
人工	正規	5.2	5.4	5.3
	再任用(h31)		1.0	1.0
	再任用(h26)	1.0		
	非常勤	0.3	0.3	0.3

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
特定教育・保育施設等への指導・監査訪問率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 【部内及び他部局との総合調整】
- ・部の予算、決算等のとりまとめ
 - ・社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催
- 【次世代育成課の一般事務】
- 【指導・監査業務】
- ・特定教育・保育施設等の指導・監査業務

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・こども家庭部内及び他部局との総合調整や次世代育成課の一般事務について、滞りなく実施した。又、社会福祉審議会児童福祉専門分科会を3回開催し、協議や意見聴取をすることができた。
- ・特定教育・保育施設等186施設・事業所に対して、立ち入りによる指導監査を実施した。また、施設・事業関係者に対する集団指導(全体説明会)を年1回開催した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・国通知に基づき、平成29年度より特定教育・保育施設等において死亡や意識不明等の重大事故が発生した場合、検証会議を設置し、発生原因の分析や再発防止策の検討を行う。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・条例に基づき、社会福祉審議会児童福祉専門分科会を開催し、必要な事項の審議等を行う。
- ・特定教育・保育施設等については、原則全ての施設・事業所に対し、年1回以上の立ち入りによる指導監査を実施する。
- ・特定教育・保育施設等において重大事故が発生した場合、速やかに重大事故検証会議を開催し、再発防止策の措置を講ずる。

政策シート

(政策名) 子どもが健やかに育つ環境づくり

(予算費目名) 子育て支援費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもを育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

少子化や核家族化が進む中、親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを促進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	433,831	422,415	428,044
決算	388,833	379,042	
人件費(A)	49,000	49,000	49,700
報酬(B)	141	317	317
年間経費(予算又は決算+A+B)	437,974	428,359	478,061

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
子育て支援ひろばの実施数(箇所)	箇所	25	目標	24	24	24
			実績	24	24	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

少子化や核家族化が進む中、親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを促進する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

市内24か所の子育て支援ひろばで、妊婦や子育て中の親の不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	子育て家庭支援事業	○	○	○		310,071	284,171	3.3			1.0	
2	発達相談支援事業	○		○		155,479	132,762	3.2				317
3	子育て支援運営経費(一般諸経費のみ)					1,791	1,091	0.1				
4	子供の未来応援地域ネットワーク支援事業					10,720	10,020	0.1				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						478,061	428,044	6.7			1.0	317

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 子育て家庭支援事業

◇事業目的・事業対象

子育てに対する親の不安軽減や子どもの健やかな育ちを支援するために、児童とその保護者、妊婦に情報提供や支援を行う場を提供し、地域全体で子育て支援を推進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.31】

- ・地域子育て支援拠点事業
子育て支援ひろば24箇所、児童館4箇所
- ・子育て情報センター管理運営事業
浜松市子育て情報センターの管理運営、ファミリーサポートセンターの運営、子育て情報サイト「ぴっぴ」の運営、父親と母親を対象とした子育て教室の開催
- ・地域子育て推進事業
中山間地域親子ひろば事業(水窪・龍山・佐久間・春野)、地域つどいのひろば事業
- ・児童遊園等整備支援事業
- ・産後ケア事業
- ・はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H6		一般会計	自治事務(法令義務) 自治事務(その他)	児童福祉法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	303,776	288,296	284,171
	決算	262,521	250,430	
	国・県支出	153,444	156,109	153,883
	市債			
	その他	3,439	4,486	49,226
	一般財源	105,638	89,835	81,062
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		25,900	25,900	25,900
人工	正規	3.3	3.3	3.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	1.0	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
世代を越えて集うことができる子育て支援ひろばの設置数(箇所)				-		31
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	24	24	24	25	25	25
実績値	24	24				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
地域子育て支援拠点延べ利用者数(人/件)				II-1(3)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	367,000	383,000	383,000	383,000	383,000	
実績値	300,049	309,626				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
子育て中の市民が「子育てしやすいと感じる割合(%)」				II-1(3)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	43.2	45.0	47.0	48.0	50.0	
実績値	43.2	39.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.31】

- ・地域子育て支援拠点事業
子育て支援ひろば24箇所、児童館4箇所
- ・子育て情報センター管理運営事業
浜松市子育て情報センターの管理運営、ファミリーサポートセンターの運営、子育て情報サイト「ぴっぴ」の運営、父親と母親を対象とした子育て教室の開催
- ・地域子育て推進事業
中山間地域親子ひろば事業(水窪・龍山・佐久間・春野)、地域つどいのひろば事業
- ・児童遊園等整備支援事業
- ・産後ケア事業
- ・はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)

・事業の成果と課題

指標の達成度

子育てに対する親の不安軽減や子どもの健やかな育ちを支援するために、児童とその保護者、妊婦に情報提供や支援を行う場を提供し、地域全体で子育て支援を推進した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

民間委託による子育て支援ひろば事業の効果を検証し、平成27年度から24箇所の子育て支援ひろばを開設した。

子育て支援ひろばの基本内容に加え、地域の実情や利用者のニーズなどに応じて、様々な加算事業により、きめ細やかな支援を行うこととした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・子育て支援拠点事業については、地域の実情に応じて支援内容を検討していく。

・妊娠・出産・子育てに係る妊婦産等の不安や負担軽減を目的に、産後ケア事業・はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)を実施し、継続して妊娠期から子育て支援期にわたる切れ目ない支援を行っていく。

補助シート (事業名) 子育て家庭支援事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
31	子育て支援ひろば24箇所開設。	子育て支援ひろばを24箇所開設。	子育て支援ひろばを24箇所開設。	子育て支援ひろばを25箇所開設。

事業シート (事業名) 発達相談支援事業

◇事業目的・事業対象

乳幼児期から就学、成人期に至るまでの発達障がいのある子どもの相談支援体制を整備し、自立した社会生活が送れるようにする。また、発達障がいの疑いのある子どもとその保護者が、早期療育を経験する中で、子どもにとって適切な働きかけができるよう支援する。

◇事業の概要

- 発達障害者支援センター運営事業
 浜松市発達相談支援センター「ルピロ」の運営
- 発達障害者支援人材育成事業
 保育園・幼稚園等に通う発達障がい(疑い)のある子どもを適切な支援に結びつけるために園職員を育成
- 発達支援広場事業
 発達支援広場10会場の運営
- 発達障害者支援体制整備事業
 発達障害児者の支援体制の整備、子育てサポートファイルの作成
- はますくQ&Aサイトの拡充
- かかりつけ医発達障害対応力向上研修の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20		一般会計	自治事務(法令義務)	発達障害者支援法	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	128,904	133,008	132,762
	決算	125,456	127,589	
	国・県支出	21,097	20,768	22,692
	市債			
	その他			
	一般財源	104,359	106,821	110,070
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)		141	317	317
人件費 (千円)		22,400	22,400	22,400
人工	正規	3.2	3.2	3.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
発達支援広場会場数(会場)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10	10	10	10	10	10
実績値	10	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)				II-1(3)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	43.2	45.0	47.0	48.0	50.0	
実績値	43.2	39.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・発達障害者支援センター運営事業
浜松市発達相談支援センター「ルピロ」の運営
- ・発達障害者支援人材育成事業
保育園・幼稚園等に通う発達障がい(疑い)のある子どもを適切な支援に結びつけるために園職員を育成
- ・発達支援広場事業
発達支援広場10会場の運営
- ・発達障害者支援体制整備事業
発達障害児者の支援体制の整備、子育てサポートファイルの作成
- ・はますくQ&Aサイト構築

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・ルピロでは、乳幼児期から成人期に至るまで、ライフステージに応じた相談援助を行っており、発達障がいに関する相談対応件数は、昨年度よりも増加している。また、必要に応じ関係機関と調整を行い、適切な支援に結びつけることができている。 <平成28年度>相談件数 延 4,173件
- ・発達支援広場では、発達障がいの疑いのある子どもとその保護者に対し、早期療育的なアプローチを経験させることで、適切な親子の関わり方を習得させることができた。また、継続的な療育が必要な子どもは、児童発達支援事業等に結び付けることができた。しかし、1.6か月健診事後、必要な時期に参加ができていない状況がある。 <平成28年度> 参加人数 延 9,810人
- ・子育ての悩みや不安を緩和する、ウェブサイト「はますくQ&A」を開設した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・発達支援広場の待機状況について、現状等把握している。
- ・子育てサポートファイルについては、母親学級や発達支援広場、健診等で活用できるように促しているが、まだ活用が十分ではない状況。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・発達支援広場に発達障がいの疑いのある子どもが、適切な時期に対応できるようにする。
- ・子育てサポートファイルをより活用できるための検討やそれにおける利用方法を周知する。
- ・成長の記録の1か月のページを作成し、妊娠から幼児期までの切れ目のないサポートファイルとしていく。
- ・「はますくQ&A」の定期的な更新をし、サイトの周知と活用促進を図る。

事業シート (事業名) 子育て支援運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,151	1,111	1,091
	決算	856	1,023	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	856	1,023	1,091
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
	人件費 (千円)	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 子供の未来応援地域ネットワーク支援事業

◇事業目的・事業対象

貧困等による親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、行政や支援団体が連携して支援を行うためのネットワークを構築するとともに、経済的困難を抱える家庭の児童に対し学習支援を実施することで、学習や進学に対する意欲を高める。

◇事業の概要

- ・子供の貧困対策コーディネーター事業
貧困状態にある子どもや家庭に対する支援を行うための行政や支援団体の関係構築を目的とするコーディネーターの設置
- ・学習支援事業
ひとり親家庭や生活保護受給世帯の児童を対象とした学習支援事業の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29		一般会計	自治事務(その他)	子どもの貧困対策の推進に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算			10,020
	決算			
	国・県支出			5,010
	市債			
	その他			
	一般財源			5,010
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				700
人工	正規			0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
学習支援事業の実施箇所						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			5			
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 子どもが健やかに育つ環境づくり

(予算費目名) 家庭福祉費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

安心と喜びをもって子育てができる社会の実現を目指し、子育て支援策を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	16,884,256	16,958,979	16,843,835
決算	16,474,199	16,626,251	
人件費(A)	40,320	40,320	36,820
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	16,514,519	16,666,571	16,880,655

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
乳幼児医療費助成件数(件)	件	650,000	目標	772,000	775,000	762,000
			実績	755,146	763,317	
小・中学生医療費助成件数(件)	件	565,000	目標	671,000	733,000	737,000
			実績	700,697	716,279	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

安心と喜びをもって子育てができる社会の実現を目指し、子育て支援策を推進する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

【乳幼児医療費助成事業、小・中学生医療費助成事業】

医療費助成に係る支払事務、その他事務の総括を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。

【児童手当支給事業】

手当に係る新規認定及び受給継続者への案内、手当の支払事務、その他の事務の総括を行い、子育て家庭を支援した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	家庭福祉支援事業	○				16,815,729	16,780,309	4.5			1.4
2	児童福祉システム運用事業					54,926	53,526	0.2			
3	交通遺児等基金積立金	○				10,000	10,000				
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						16,880,655	16,843,835	4.7			1.4

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 家庭福祉支援事業

◇事業目的・事業対象

児童手当等の支給や医療費助成により保護者の経済的負担を軽減し、子どもを心身ともに健康に育てることを目的とする。

◇事業の概要

- ・乳幼児医療費助成事業
0歳から就学前までの児童の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円)
- ・小・中学生医療費助成事業
市内の小・中学生の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円*時間外診療、夜間救急、休日当番医の日を含む休診日の診療は助成対象外)
- ・児童手当支給事業
中学校修了前の児童を養育する者に対し児童手当を支給
支給月額 3歳未満 一律1万5千円 3歳~小学校修了前 第1子、第2子:1万円 第3子以降:1万5千円
中学生 一律1万円
所得制限以上 一律5千円(特例給付)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49		一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)	児童手当法等	○	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	16,823,772	16,659,868	16,780,309
	決算	16,426,484	16,339,624	
	国・県支出	11,766,717	11,667,899	11,981,503
	市債			
	その他			
	一般財源	4,659,767	4,671,725	4,798,806
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		35,420	35,420	35,420
人工	正規	4.5	4.5	4.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	1.4	1.4	1.4

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
乳幼児医療費助成件数(件)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	772,000	775,000	762,000			650,000
実績値	755,146	763,317				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
小・中学生医療費助成件数(件)				II-1(3)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	671,000	733,000	737,000			565,000
実績値	700,697	716,279				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)				II-1(3)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	43.2	45.0	47.0	48.0	50.0	
実績値	43.2	39.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・乳幼児医療費助成事業
0歳から就学前までの児童の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円)

・小・中学生医療費助成事業
市内の小・中学生の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円*時間外診療、夜間救急、休日当番医の日を含む休診日の診療は助成対象外)

・児童手当支給事業
中学校修了前の児童を養育する者に対し児童手当を支給
支給月額 3歳未満 一律1万5千円 3歳～小学校修了前 第1子、第2子:1万円 第3子以降:1万5千円
中学生 一律1万円
所得制限以上 一律5千円(特例給付)

・事業の成果と課題

指標の達成度

【乳幼児医療費助成事業】
未就学児の入院・通院医療費(保険診療に係る医療費の自己負担分)について助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見、早期治療による重篤化の防止及び慢性化予防など乳幼児の健康に寄与した。

【小・中学生医療費助成事業】
小・中学生の入院・通院医療費(保険診療に係る医療費の自己負担分)について助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見、早期治療による重篤化の防止及び慢性化予防など小・中学生の健康に寄与した。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

【児童手当】
新システムの導入により、これまで各区役所にて個別に管理していた保留者へ送付する通知について、対象者をシステム管理できるようになった。また、通知書もシステムにより発行できるようになり事務を削減できた。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

【乳幼児医療費助成・小・中学生医療費助成事業】
システムの再構築に伴い、29年度2事業を「子ども医療費助成事業」に統合。事務の効率化を図る。高額療養費の調整事務の負担軽減のため、併用レセプトの導入を引き続き検討していく。

事業シート (事業名) 児童福祉システム運用事業

◇事業目的・事業対象

平成29年7月の個人番号制度の国・地方公共団体等との情報連携開始に向け、児童福祉システムの再構築と既存システムの改修を行うもの。

◇事業の概要

・児童福祉システム運用保守
番号制度対応・ホストシステム廃止により再構築を実施したシステムの運用保守

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H33	一般会計	自治事務(その他)	番号法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	50,484	289,111	53,526
	決算	43,826	280,302	
	国・県支出	16,505	18,575	
	市債			
	その他			
	一般財源	27,321	261,727	53,526
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		4,900	4,900	1,400
人工	正規	0.7	0.7	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・児童福祉システム再構築
番号制度対応・ホストシステム廃止によるシステム再構築
- ・こどもシステム改修
番号制度対応システム改修
- ・母子父子寡婦福祉資金システム改修
番号制度対応システム改修

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り進捗中。

- ・児童福祉システム再構築
平成29年2月27日新システム本稼働
- ・こどもシステム改修
平成29年3月6日新システム本稼働
- ・母子父子寡婦福祉資金システム改修
平成29年3月6日新システム本稼働

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・番号法に基づく他市町村等との情報連携に向けた対応を実施中。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・番号法に基づく他市町村等との情報連携に向けた対応を引き続き実施する。(連携開始時期 平成29年7月)
- ・番号法対応を実施することにより、現在、市民が各種制度申請時に添付している書類が不要になる等、利便性の向上が見込まれる。

事業シート (事業名) 交通遺児等基金積立金

◇事業目的・事業対象

交通遺児等の福祉の向上を願って寄せられる篤志家からの寄付金を活用し、交通遺児等の福祉の向上を図る。

◇事業の概要

篤志家からの寄付金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ積み立てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46		一般会計	自治事務(その他)	浜松市交通時事等福祉事業基金に関する条例	○	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	10,000	10,000	10,000
	決算	3,889	6,325	
	国・県支出			
	市債			
	その他	3,889	6,325	10,000
一般財源				
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)				II-1(3)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	43.2	45	47	48	50	
実績値	43	40				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

篤志家からの寄付金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ積み立てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

交通遺児に対する寄付金を交通遺児等福祉事業基金へ積み立てた。
積み立てた基金の運用収入を財源にして、交通遺児等福祉手当支給事業を実施し、交通遺児等を支援した。
平成28年度実績

積立額 5,871,906円(H29.3.17現在)

H28年度最終の積立処理後に受け入れた寄附(H29年度に追加積立) 452,952円

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

篤志家からの寄付金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ積み立てた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

寄附をいただいた篤志家の厚意を尊重し、継続する。